大学時代に培ったタフさと人間力を武器に

AP&T株式会社
代表取締役
井上（いのうえ）竜生（たつお）さん
創価大学法学部卒業

創価大学では「学生第一」の建学の理念のもと、教育環境や学生支援体制を整えてきました。近年は大学独自の奨学金制度の対象者を全学生の約二〇%に拡充。学生寮としては二〇一七年度に男女それぞれの新しい国際学生寮が完成する予定です。文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援に採択され、今後もさらに国際化や多様化に対応したキャンパスが整備されます。

Tatsuo Inoue

いのうえ・たつお／福岡県立八幡高校卒業。一九八一年創価大学法学部入学。八五年卒業。同年アイダエンジニアリング株式会社に入社。九七年～二〇〇三年までイギリスに赴任。〇五年ミヤチテクノス株式会社に転職。一〇年～一三年までドイツに赴任。一四年～一五年はアマダミヤチインディア社長を務める。一五年八月にAP&T株式会社代表取締役に就任。

スウェーデンといえば福祉先進国として知られているが、実は鉄鋼産業にも伝統がある。その中でも近年注目されているのがホットプレスという鉄の加工技術だ。

「ホットプレスとは、鉄鋼を九三〇度の高温に熱して、金型にはめ込み、急速に冷やす加工技術です。従来よりも強度が三倍になり、主に自動車の骨格部分に使用されています」と話すのは、ホットプレスの世界的なリーディングカンパニーであるAP&TA B社の日本法人代表取締役を務める井上竜生さんだ。

井上さんは創価大学卒業後、機械メーカーで営業職を勤めてきたが、イギリスやドイツなどでの海外勤務経験と実績を請われて昨夏に転職した。

「ホットプレスの長所は車体重を軽量化でき、安全性と燃費も向上すること。ヨーロッパでは普及しており、日本でも採用するメーカーが徐々に増えてきました。今後も大きな伸びが予想されます」

北九州市出身の井上さんは、大学一・二年次は寮生活をしていて、これが貴重な経験だったという。

「寮は一二人で一部屋の共同生活。東北から九州まで様々な地方出身者がいて、そこで異なる文化への理解力やコミュニケーション力などが磨かれましたね」

ボルボ社の最高級SUV「XC-90」の車体骨格。赤のピラー（柱）がホットプレスで作られており、衝撃に強い構造になっている。

大学四年生までサッカー部に所属して、練習後はアルバイトにも励みつつ、二年生の時には奨学金も得た。そうしたなかで心身ともに鍛え上げられた人間力が、社会人としての基礎になった。

「大学の卒業式で創立者が語った『十年一剣を磨く』という言葉を大切にして、仕事に打ち込んできました。これまで海外三カ国で働いてきましたが、文化の違いはあっても、信頼関係を築くことがビジネスの第一歩であることは共通しています」

また、途中でやめるのは負けることと同じであり、語学力は当然として、どんな難しい課題にも真正面から取り組む「負けじ魂」があれば、世界に通じる人材になれると言い切る。

北海道新幹線の開業に伴い、北日本への要所として発展するさいたま新都心から通勤する井上さん。「片道九〇分の時間も情報収集や戦略立案などに活用しています」と実にポジティブだ。

「日本を含めて世界は今、大きく変化しており、刺激に満ちています。環境への感謝を忘れず、誠実かつ情熱をもって目標に向かってほしい」と、後輩へ熱い声援を送る。

SOKA University
SOKA Women's College
〒192-8577　東京都八王子市丹木町1-236
Tel.042-691-2215　http://www.soka.ac.jp

20年前の1996年6月、創価大学の創立者池田大作先生は、コロンビア大学で『「地球市民」教育への一考察』と題して講演を行った（写真）。この講演の中で、これからの世界と人類に求められる地球市民の条件について、「生命の相関性を深く認識しゆく『智慧の人』、人種や民族や文化の〝差異〟を尊重し、理解し、成長の糧としゆく『勇気の人』、遠いところで苦しんでいる人々にも同苦し、連帯しゆく『慈悲の人』」と語り、多くの人から共感を得た。